



中央学院大学

学友会 会報

Contents

- 01 学友会から皆様に
- 02 駅伝部 三大駅伝に出場決定！
OB武井 壮さんインタビュー
- 03 「あの時、キミは若かった！」
入学案内パンフレットで迎える、あの日、あの時
- 06 館山セミナーハウス利用体験レポート
- 08 「あびこ祭」と「学友会総会」開催のお知らせ

人と人の“つながり”が求められる今、 学友会の絆もさらに強く、有意義なものへ。

中央学院大学はまもなく創立50周年を迎えようとしています。

卒業生数は24,000名を数え、学友会の皆さまの活躍の場も国内のみならず、アジアおよび世界各地に広がっています。

青春を謳歌した4年間。思い出深い母校がいまどのように変化しているのか。

学友会の一員として、今後どのように関わっていけるのか。

学友や母校との絆をさらに深められるよう、学友会会報も今号からリニューアルしました。

これからも、より多くの有意義な情報を提供し皆さまをサポートして参ります。

友人・知人のご住所が おわかりでしたら ご連絡ください！

住所が不明となっている会員の方が多数いらっしゃいます。ご友人や先輩・後輩など、住所がお分かりの方がいらっしゃいましたら、ご本人の了解をいただいた上で、事務局までお知らせ願います。
※住所不明の方の卒業年別一覧表を同封しております。ご確認ください。



お得な情報からレアな情報まで
ますます母校が好きになりますよ！

学友会ホームページに アクセスしてください！

A WEB
会員登録

【会員専用サイト メール配信 掲示板】
一般公開ページの他に、学友会会員だけが閲覧・利用できる「会員専用サイト」を準備中です。会員専用サイトでは、学友会からのお知らせメールの配信や会員同士の交流、情報交換に活用できる掲示板の設置を予定しています。

ぜひ、専用フォームからご登録ください。
※学友会ホームページの「お問い合わせ」ページからご登録いただけます。
専用フォーム <http://cgug.jp>

B 卒業生
の活躍

【各界で活躍する卒業生を紹介】
卒業後、さまざまなフィールドで活躍している卒業生にスポットをあてご紹介します。

C 学友会
の活動

総会関連をはじめ、学友会講座や各支部の活動など、最新の活動情報をご紹介します。

第 **39** 号
October * 2013

02ページに、「学友でアスリートタレントの武井 壮さん」インタビュー掲載！



三大駅伝出場決定! とことんアツい応援を、待っています!

正月2日・3日の箱根駅伝は学友会の皆さまも、ぜひ応援にご参加ください!

ここ数年、着実に力をつけレベルアップしてきた本学駅伝部。
今年度、国内で開催される『三大駅伝』のすべての大会に出場が決まりました。
10月の「出雲駅伝」を皮切りに、11月の「全日本大学駅伝」、そして正月の「箱根駅伝」。
薄紫と黄の我がCGUカラーが疾風の如く、駆け抜けます。
ぜひコースの脇で後輩たちにアツい声援を送ってください。
きっと選手たちの大きなチカラになるはずです!



第25回 出雲駅伝

出雲全日本大学選抜駅伝競走

2013年10月14日(月・祝)

5回目の出場

駅伝シーズンの幕開けを飾る大会として、毎年「体育の日」に開催。特徴は「高速駅伝」であること。最短となる第2区はスピード対決となる。また海外の大学を招待している点もこの大会の特長。第10回大会からはスタート地点を出雲大社正面鳥居前に移し、八百万の神々が集う出雲ならではのスタートシーンも見所のひとつ。

参加 22チーム (うちアイビーリーグ選抜1チーム含む)

6区間 計44.5km

Start ● ● ● ● ● ● Goal
出雲大社 出雲ドーム

第45回 全日本大学駅伝

秩父宮賜杯
全日本大学駅伝対校選手権大会

2013年11月3日(日)

7回目の出場

1970年にスタートした文字どおり「大学駅伝日本一」を競う大会。全国各地の予選を勝ち抜いてきた精鋭25大学が出場。コースは長距離・短距離を組み合わせた8区間。前半は小刻みなアップダウンが多く、後半は比較的フラットなコース。過去に大東文化大、早大が4連覇を成し遂げている。

参加 25チーム

8区間 計106.8km

Start ● ● ● ● ● ● Goal
熱田神宮西門前 伊勢神宮内宮宇治橋前
(名古屋市中) (三重県伊勢市)

第90回 箱根駅伝

東京箱根間往復大学駅伝競走

※第89回で10位に入り、シード権獲得!

2014年1月2日(木)・3日(金)

15回目の出場

1920年(大正9)に誕生した箱根駅伝。今回は記念大会ということで、関東学連加盟大学のうち前年大会でシード権を獲得した10校と、予選会を通過した13校を加えた合計23チームが出場。長い上り坂となる往路5区は、各校のエースといえども攻略は難しい。駅伝の醍醐味である、ごぼう抜きがよく見られるのもこの区間だ。

参加 23チーム (計10区間・217.9km)

往路 5区間 計108.0km

Start ● ● ● ● ● Goal
読売新聞東京本社前 箱根・芦ノ湖

復路 5区間 計109.9km

Goal ● ● ● ● ● Start
読売新聞東京本社前 箱根・芦ノ湖

箱根駅伝応援バスツアー
学友会主催 実施決定!
参加希望される方は10月以降のホームページをご参照ください。

応援しよう! / こんなところで学友が活躍しています

「陸上・十種競技元日本チャンピオン」という身体能力の高さと「百獣の王」をめざす特異なキャラクターが受け、アスリートタレントとして現在、人気沸騰中の武井壮さん。2013年上半年メディア露出度第3位、ご存知の方も多いのでは。

陸上競技を始めたのは何と大学から。神戸学院大在学中に十種競技で頭角を現し、当時、日本陸連の強化部長だった本学・小林敬和現教授の目にとまり、中央学院大学に3年次学士入学。

「2年間で日本一になる」と決めていたので、アルバイトも遊びも一切やらず、毎日トレーニングばかりやっていました。

恩師・小林先生との思い出は「とにかく合宿の練習メニューが半端じゃない(笑)。国内トップクラスの猛者が合宿初日からボロボロになるんです。でも、それをきっちりやり切ると、フィジカルがしっかり強くなる。どのタイミングでどこを鍛えればいいのか。そのさじ加減が絶妙でした」と振り返る。

日本一という明確な目標を定めた2年間。当時は十種競技の上位の選手層も厚かった。



So Takei!

生きるための「宝物」を掴んだ場所。

武井壮さん 1998年商学部卒業 陸上競技部 OB

武井さんのインタビュー全文・プロフィールは、学友会ホームページに掲載しています。是非ご覧ください。

<http://cgug.jp/?cat=4>

キャンパスライフの変遷

青春のキャンパスをもう一度。
入学案内パンフで辿る、あの日、あの時。

友と語り笑い合った時間、勉強やスポーツに打ち込んだ日々、
ちょっぴり苦い失恋の思い出などなど、
振り返ればたくさんの思い出が詰まっているキャンパス。
懐かしさに思わず“あの日に帰りたい”とつぶやく人も。
そんなセンチメンタルなご要望(?) に応えて、
第1回は入学案内パンフレットとともに“あの頃”を辿ります。



60年代半ばの講義風景。
何と全員学生服! 時代を感じます。



スクールバスがある今日では想像できないが、
昭和40年代前半までは正門前まで
路線バスが運行していた。



1980年代、プレハブ造りの学食。
入口脇に毎日メニューが並べられていた。
どれもボリュームが凄かった!

懐かしすぎる!

あの時、
キミは若かった!

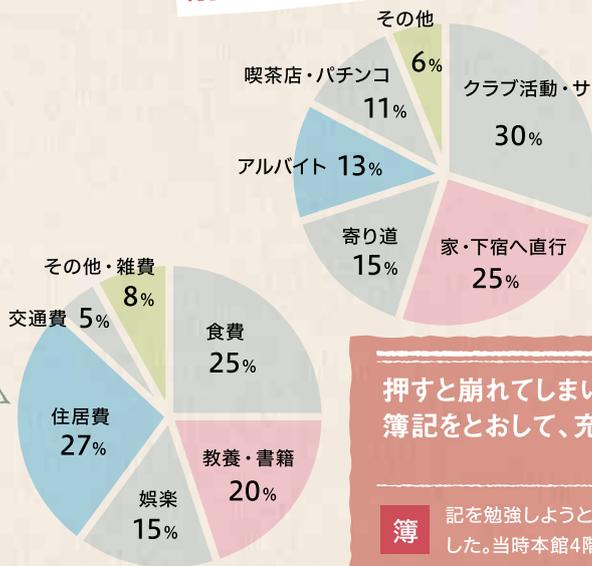
1980年



アンケートにみる大学生活 ①

◆生活費の内訳(平均70,000円)

食費と住居費で半分を超えるのは現在でも同様か。いまでは欠かせない「インターネット・携帯電話」の費用を捻出する必要がなかった当時は、ある意味、豊かだった!?



アンケートにみる大学生活 ②

◆放課後の過ごし方

「クラブ・サークル活動」もしくは「アルバイト」と答えた学生が全体の40%以上を占める一方で、「喫茶店・パチンコ」と答えた学生が11%。現在ならば、「ゲーム・カラオケ」といったところか。「その他」の内容が気になるが、麻雀にハマっていた学生も結構いたのでは?

押すと崩れてしまいそうな部室。
簿記をとおして、充実した4年間を経験。

商学部 1973年卒業 島田 貴司さん

簿

記を勉強しようと、入学してまもなく「企業会計研究部」に入りました。当時本館4階の西側には4つの部室が並んでありましたが、押すと崩れてしまいそうな壁。でも、とても愛着があり、4年間を楽しく過ごせた貴重な空間でした。長野での夏合宿やあびこ祭にも参加しました。あびこ祭の前日は仮装行列で地元を歩き、当日は本学初(!)のお化け屋敷をやりました。帰りが遅くなると宝蔵寺の北側は街灯がなく真っ暗で、空を見上げながら(道路の上は樹木がないため)帰ったことを思い出します。プロゼミでは浦安でハゼ釣りをしたり、先生の家を訪ねたりと、楽しいことが次々と出てきます。2年のときに先輩に勧められ、簿記検定試験2級に合格したことを鮮明に覚えていますね。簿記をとおした人間関係の広がりがあったことで、中央学院大学に就職し今日に至っています。



この頃は図書館はまだなく、本館、2号館、3号館、学食、体育館だけ。敷地を囲う堀もなく、オープンな雰囲気だった。法学部はまだ開設されておらず、商学部の5専攻のみ。「国際貿易学専攻」という言葉が時代を表している。



当時のコンピュータ設備。とにかく大きくて、値段も高価だった(でしょう)。



体育祭での一コマ。ハチマキ締めて、声を枯らして応援。案外楽しんだものです。



芝生の上でフォークギター。まさに大学ライフの象徴! こんな青春シーンに憧れて入学してくる学生もいたはず!?

1985年



降雪の翌日。図書館前。後期試験の頃か。



旧本館前。授業を終えた学生たちが、よくここで立ち話をしていた。それにしても当時はジャンパー姿(ブルゾンではない)の学生が多かった!

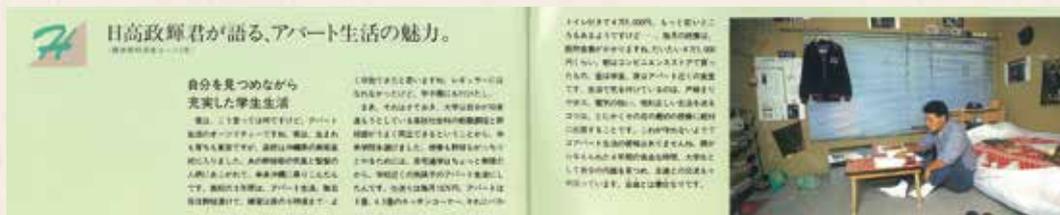
厳しかった体育の授業。 水はけの悪いキャンパスにさらに追い打ちを!

商学部 1978年卒業 根本 三男さん

当時は大学の様相も今とかなり違ってました。例えば、体育の授業。体調不良を訴えても欠席が許可されることは稀。不真面目な態度や無断欠席をすると、もれなく単位の危機に瀕することに。当時のキャンパスは水はけが悪く、大雨や台風の日には教室間の移動ができない程でした。学内道路には渡り板(スノコ)が敷いてあったのですが、運送会社でアルバイトをしていた私はある台風の日に4tトラックで大学に行き、迂回にもこれを踏み抜いてしまったのです。そのあと2時間は説教されましたね(笑)。そして私の4年間を貫いた柱といえるのが空手道部生活。「強さ」に憧れて入部し、必死に練習し、最終的には学生全日本ベスト16になることができました。ときに理不尽なルールから多くを学びましたが、死力を尽くした合宿の後に先輩から注いでもらうビールの味は格別でした。



1988年



当時の代表的な一人暮らしの様子。テーブルは冬場にはコタツに。留守電機能のないダイヤル電話が懐かしい。気になる家賃は6畳・キッチン4畳半・バストイレ付で43,000円(我孫子)。



“オチケン”と親しまれ、当時は各大学にあった落語研究会。本学のオチケンも今はありません。



5号館前。授業が終わり、大勢の学生たちが出てきている。この頃、大教室での講義は5号館に集中していた。

1993年

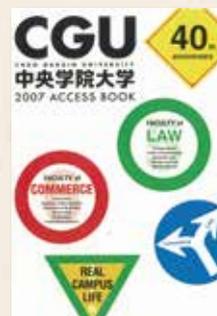


最新鋭のコンピュータ端末を200台導入。この当時、どの大学も情報処理教育に力を入れていた。



野球部が全国大会に出場。神宮球場のスタンドもたくさんの応援で盛り上がった。君も行った?

2007年



入学直後に1泊2日でオリエンテーションに向くプライムセミナー。ここでみんな打ち解け、友だちをつくりました。

旧学食の喫茶コーナー。
肩掛けセーターが当時の流行ファッション!?



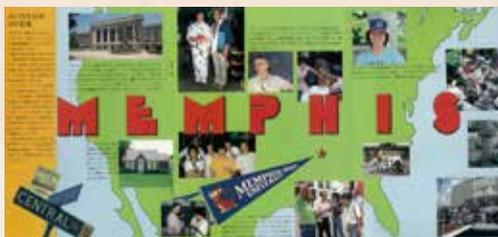
みんなよく通った2号館。
ただエレベーターが
ないのはキツかった。



キャンパスの一番奥にあった
ゴルフ部の練習場。
バンカーショットの練習風景。

連載企画 第①回
キャンパスライフの変遷

懐かしすぎる!
あの時、
キミは若かった!



海外留学ブームの頃。メンフィス大学への
短期留学プログラムへの希望者も多かった。
近年は隔年開催となり、なかなか参加者も集まらないとか。



写真部。昔は暗室に籠って現像していました。
デジタルのいまでは考えられない!



2号館ゼミ室(商学部)。少人数で議論し合えるゼミは、
大教室の講義よりずっと楽しかった!?

ときはバブル絶頂期。
“とりあえず”な自分を変えてくれた新入生合宿。

商学部 1990年卒業 藤井 信夫さん

私 が大学生を送ったのは、バブル景気が始まった年からの4年間。
とりあえず的な考えで、社会科学系の学部に進学して、それから将来を考えれば良と思っていたので、正直、希望や期待よりも不安の方が大きかったですね。しかし、その不安は入学直後に2泊3日の館山国民休暇村での新入生合宿ですぐに払拭されました。卒業して23年経った今でも付き合い合っている多くの友人との出会いの場でした。履修指導や教務課・学生課のガイダンス、ゼミ単位での研修、OB講演会等とおして、改めて高校までとはまったく違う学生生活になると感じたものです。一番の思い出は、合宿で出会った仲間とのハイキング中の会話や宿舎で夜遅くまで語り合ったこと。生まれ育った地域や年齢の違う仲間が全国から集まり、興味深い話をたくさん聞き、多くの価値観を学ぶことができた貴重な合宿でした。



新旧の校舎が混在していた頃。
やがて、本館、2号館、3号館、
そして学食が姿を消し、建て替わっていきました。



5号館の階段教室。天井の照明がオシャレでした。



図書館前の芝生の上で「青空教室」。
講師はメンフィスから来られたジョン・ドーラン先生。
海外の大学っぽい!



新歓の頃はこうしたピラ
をあちこちで配っていま
した。旅行研究同好会は
「旅行研究部」に名を変
え、いまでも健在。フォ
ークソング部も現在がんば
って活動しています。



学生会館Via。学食のあるここは学生たちの憩いの場。
食事はもちろん、空き時間に友だちとおしゃべりしたり、待ち合わせ場所に使ったり。
建物前の噴水があった池の水は、現在は張られていない。



現本館(中央学院100周年大学記念館)も完成し、
現在のキャンパスと同じ姿に。
入学パンフレットもイラストを交えて各施設を紹介している。



商学部6コース、
法学部5コースの時代。

わずか10年でも進化を感じる今日のキャンパス。
さらなる発展のお手伝いができれば。

法学部 2003年卒業 梅田 勝誠さん

当 時は、正門をくぐると5号館まで真っ直ぐ続く道があり、その途中、
右手には本館、研究棟、左手には図書館、2、3、6号館が並んでいま
した。桜や金木犀、イチヨウなど四季を感じられる木々もあり、大学のメ
インストリートでした。2、3号館は年輪を感じさせる建物で、少人数の国
語、英語、ゼミ等の授業を受けていました。キャンパス奥の学生会館Viaや
クラブ棟は多くの時間を過ごした場所です。少林寺拳法部に所属し、あび
こ祭で噴水広場に畳を敷き演武を行ったことを今でも鮮明に覚えています。
私の頃は、休講掲示板がホワイトボードに手書きでしたが、今は携帯電話やインターネットで確認でき
ます。ここ10年でもかなりの変化(進化)を感じますね。この先、さらに発展し続ける「誇りも高き母校」の
お手伝いを微力ながらもできればと思っています。



館山セミナーハウス体験レポート

ご存知ですか? 館山セミナーハウスは 卒業生の皆さまもご利用いただけます!



房総には、ステキな観光地がたくさん。外房の「鴨川シーワールド」、内房の「館山」など館山セミナーハウス宿泊の前後に気軽に立ち寄れますよ。

そこで2013年初春、学友のご家族に体験宿泊していただきました!

大学から電車で約3時間、房総半島の最南端、温暖な気候と自然に恵まれた館山にある「館山セミナーハウス」。当施設は開設以来、ゼミやサークルの合宿、プライベート旅行など、さまざまな用途に活用されています。在学生・教職員はもちろんのこと、本学OB・OGである学友会員の皆さまもご利用できます。そこで今回は、伊藤靖士さん(1988年卒業)・貴子さんご夫妻、娘さんの由記さん(商学部2年)ご家族に1泊2日で館山セミナーハウスを体験していただきました。



広々とした窓から景色も楽しめる浴室。「この日は、女湯は貸し切り状態でした。」とのこと。(注意)タオル・歯ブラシ等の洗面用具および寝衣は各自でご準備ください。



体育館。この日は本学OBの社会人バスケットチームが合宿に訪れていました。そのほかテニスコートも完備されています。



ラウンジにて。居合わせた宿泊客と談笑。気さくな伊藤ファミリーの一面が窺えます。



ロフトのある宿泊部屋は親子3人の利用でも十分の広さ。「さあ、どこに行こうか」「いちご狩りに決まってるでしょ!」「さて、どっちの施設のいちごが美味しいかなあ…」



美味しい!。楽しい食事に会話も弾みます。食堂の窓から丘の上を見上げると、館山城も見えますよ。



朝食
朝食1人1皿のバランスのとれたメニュー



夕食



左が通常メニュー。右が特別料理のさしみ盛り(3千円)、鍋料理(1人前500円、写真は3人前)

お申込みについて

利用の条件

- ◎使用期間は、4泊5日まで。
- ◎利用優先順位は、(1)学校行事、(2)授業、(3)課外活動、(4)その他、となります。卒業生の皆さまの場合、「その他」の категория となります。

利用金額	1泊2食	学内者(家族を含む)	3,000円
		学外者	4,000円

- ◎学内者とは、教職員、学生、大学OB、およびその同居者・2親等以内の家族を指します。
- ◎学外者とはそれ以外の方を指します。

お申込み方法

本学ホームページの「館山セミナーハウス」ページをひらくと、予約状況と合わせ、申し込みについての詳細が紹介されています。

お問い合わせ先
中央学院大学 学生課 04-7183-6518
E-Mail:gakusei@cgu.ac.jp

館山セミナーハウス
千葉県館山市館山96-1

大満足間違いなし。
ココはホントにお勧めですよ!

いちご狩りが大好きな伊藤ファミリー。

白 巫の壁にレンガ色の屋根、地中海風の佇まい。まるで南の楽園を彷彿させる雰囲気。到着早々、伊藤様ご家族も満足げな様子。「予想以上にキレイな所で驚きです」と貴子さん。これまで由記さんの卒業・入学といった節目ごとに家族旅行を楽しんできた伊藤様ご家族。今回の旅行も楽しいメモリアルになりそうです。

さっそく周辺散策へ出向き、セミナーハウスに戻ると、お待ちかねの晩ご飯。通常料理に加えて、特別料理のさしみ盛りと鍋料理。「美味しそう!」。家族の会話も弾む、旅行ならではの時間。あまりのボリュームに「食べきれない!」。しかも、夏は予約すればバーベキューも楽しめます。

食事の後はお部屋に戻ってのんびりタイム。「ロフトもあって家族3人が十分にくつろげるスペースですね」と靖士さん。

翌日は待望の(!)いちご狩りへ。実は伊藤様ご家族は大のいちご好き。いちご狩りに関するうちくもかなりのもの。生憎の悪天候も何のその、一行は館山いちご狩りセンターへ。新鮮で大きないちごを思う存分に食して帰路へ。と思いきや、途中保田に立ち寄り最後に魚介料理を堪能。「もうこれ以上ないくらい満足です!」と笑顔いっぱいの伊藤様ご家族。館山の旅を満喫した2日間でした。

「やって来ました〜」。
南の楽園を彷彿させる
外観にリラックスモード。
記念にパチリ!



周辺Spot



館山いちご狩りセンター
伊藤家にはいちごは欠かせない!「甘い!」「大きい!」。
新鮮な味に満足の様子。



崖ノ観音(大福寺)

「何なの〜コレ」。舟形山中腹の断崖に張り付くように建つ朱色の観音堂。
ココからの海の眺めもなかなかロマンチックですよ。



北条海岸

海岸から眺める夕陽も最高。
3人の仲睦まじいシルエットがとても印象的。

館山城



里見八犬伝で有名な館山城。
天守閣からは天気にもまれれば富士山も望めます。

房総フラワーライン



7月でも菜の花が咲き並ぶ房総フラワーライン。
春になればたくさんの方が道路を彩ります。
たまには両親のツーショットを。「はい、もっと笑って!」。

食べ物も美味しいし、
周辺スポットも充実していて、
もうお腹いっぱい!

施設もキレイで
落ち着いた雰囲気か
気に入りました。
また機会があれば
利用したいですね

とっても大満足の旅行でした。
家族のいい思い出
になりました

保田漁協直営 お食事処「おんや」

館山から127号線を車で北上して約40分、保田にある漁協直営のお店。
新鮮な海の幸の豊富なメニューは安くて、ボリュームたっぷり。
房総を訪れる観光客の人気スポットで、
伊藤ファミリーも帰りに立ち寄り堪能しました。



「見て、このかき揚げの大きいこと!」。
イカがたっぷり入った
「いかかき揚げ丼 800円」

朝獲れの新鮮なネタを使った
「朝どれ寿司 850円」



朝獲れの魚に有頭エビ、
煮貝が付いた人気メニュー
「おんや寿司 1,400円〜」



靖士さん

由記さん

貴子さん

ABIKO^{47th} FESTIVAL あびこ祭 GO^郷 one's home

November 2 SAT-3 SUN, 2013



年に一度、キャンパスで懐かしい仲間と交流を。

大学キャンパスが一番盛り上がるイベントといえば、年に一度の「あびこ祭」。
 校友会の皆さまも在学中はさまざまな思い出を作られたことでしょう。
 校友会では例年、あびこ祭の日程に合わせて、総会を実施しています。
 今年は11月2日(土)に「平成25年度校友会総会」を開催します。
 総会は、旧友との交流を温める機会であると同時に
 歳の差をこえて新しいつながりが生まれる機会となっています。
 ぜひ、皆さまもキャンパスにお越しいただき、あびこ祭&校友会総会で
 久しぶりの“中央学院ライフ”をお楽しみください。



第47回
あびこ祭にお越しください!
 開催日 2013年11月2日(土)・3日(日)
 時間 10:00-16:30
 テーマ つながり~郷(GO)one's home~

今年は、さまざまな年齢層の人が多く楽しみ、つながれるイベントにしたいと、例年以上に外部とのコラボレーションを増やし、様々な地域の方々とのつながりを持てるようなあびこ祭をめざしています。副題の「郷one's home」は、日本ならではの「郷」を感じられる場にしたと考え、「郷を想起させるような、地域に根ざしたアットホームな企画や、昔の良き雰囲気を増やしていきたい」という理由から。どのような「あびこ祭」になるのか、ぜひ、在学生たちの新しいアイデアや工夫をその目でお確かめください。

《事務局からのお知らせ》
校友会事務局をご利用ください!
 この度、校友会事務局に担当者が常駐するようになりました。
 大学のニュースや校友会に関する様々なお知らせをタイムリーに発信していきます。
 住所変更のご連絡、各種お問い合わせにも対応します。
 下記のTEL/FAX、ホームページ専用フォームからお問い合わせください。
TEL 04-7185-1563
FAX 04-7182-8504
H.P http://cgug.jp

「平成25年度校友会総会」が開催されます!
11月2日(土) あびこ祭の当日です
 時間 11:00より
 場所 中央学院大学 30周年記念館(6号館)611小講堂(予定)

校友会総会に出席された方には、あびこ祭会場で使用できる金券(500円券)2枚、計1,000円分を差し上げます。
 総会出席後、学生時代の思い出がたくさんつまった「あびこ祭」をエンジョイしてください。

編集
後記

今号はリニューアル第一弾として、とても活気あふれる会報ができたと思います。大学の歩みを振り返ったり、活躍されている卒業生の方々に触れることで、母校をより身近に感じられたのではないのでしょうか。今後もこのように卒業生のお話や有意義な校友会情報、さ

らには学生の頃にタイムスリップしたような懐かしいエピソードなどをおりませ、会員の皆様により一層楽しんでいただけるような会報にしていきたいと思ひます。(Y・S)